

進路だより

2026. 3. 6
第74号
香川東部支援学校
進路指導部

小学部9名、中学部15名、高等部21名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

日々の学習活動や様々な行事、部活動など学校生活において、それぞれの学部の上級生として、下級生の手本となり、明るく、いきいきと活動する姿を見ることができました。4月からは、それぞれ中学生、高校生、そして社会人として新たな一歩を踏み出します。今まで培ってきた力を発揮し、新たなステージでの活躍を心より願っています。

高等部卒業生の進路先一覧



就労形態	進路先	場所
一般就労	株式会社 よんでんプラス	高松市丸の内
	株式会社 木村海産	さぬき市津田町
	香川県庁	高松市番町
	三木町役場	木田郡三木町
就労継続支援A型	特定非営利活動法人 BIG スマイル 就労継続支援A型事業所ウイズくすがみ	高松市楠上町
	社会福祉法人朝日園 障害者支援施設朝日園	木田郡三木町
	株式会社千手 就労継続支援A型事業所ピーノ	高松市塩上町
就労継続支援B型	社会福祉法人さぬき市社会福祉協議会 真珠の杜しど	さぬき市鴨庄
	社会福祉法人明日実会 スマイルハートあすみ	高松市多肥上町
	特定非営利活動法人ヒューマンアクティビティ 就労継続支援B型 氷上 FACTORY	木田郡三木町
	一般社団法人せんりの杜 障害福祉サービス事業所せんり	高松市元山町
	特定非営利活動法人 ほのぼのワークハウス	高松市牟礼町
	NPO 法人シエンタ 就労継続支援B型施設すてっぷ	高松市川島東町
生活介護	社会福祉法人長尾福祉会 障害者支援施設のぞみ園	さぬき市昭和
	特定非営利活動法人アイルコート 生活介護コンサフォス里結び	高松市川島東町
	特定非営利活動法人ほっと支援きらきら 生活介護支援事業所スリール	高松市今里町
生活訓練 施設入所支援	社会福祉法人香川県社会福祉事業団 香川県ふじみ園だいち	丸亀市飯山町
施設入所支援	社会福祉法人長尾福祉会 障害者支援施設のぞみ園	さぬき市昭和

小学部

小学部の6年生が生活単元学習で取り組んできた作業的な学習について紹介します。

今年度、6年生は、週に一度作業的な学習に取り組んできました。作業内容は、「刺し子」です。下絵に合わせて縫う練習から始め、最後は卒業制作として、在校生のために電子黒板のカバーに思い思いのイラストの刺し子をしてプレゼントしました。作業班の名前や班長を決めたり、作業日誌に目標や評価などを記入したりしました。授業がはじまると、班長が号令をかけ、作業の流れを説明し、作業が始まります。四つの目標『丁寧にする』『続けてする』『挨拶・返事・報告』『準備・片付け』のなかから、その日の目標を一つ決め、最後に担当の職員が評価します。最初は評価が丸にならないこともありましたが、徐々に、ほとんどの児童が作業に集中して取り組めるようになり、花丸評価をもらうことが多くなりました。出来上がった作品を見て満足そうな表情を浮かべる子どもたち。自分たちがちくちくと縫ってきた作品が完成し、在校生に喜んでもらえるという貴重な体験ができました。



中学部

中学部では進路学習の一環として、さぬき市にある障害者支援施設「さざんか園」を見学しました。今回の目的は、本校卒業生が実際に働く姿や施設での過ごし方を知り、高等部卒業後の生活を具体的にイメージすること、そして公共施設でのマナーを実践することです。

施設では、主に三つの作業工程を見学・体験させていただきました。

1つ目は、電線の分解作業です。山積みの電線に機械で切れ目を入れ、外側のビニールと中身を一本ずつ手作業で仕分けていきます。実際に体験してみると、一見スムーズに作業は進むものの、毎日膨大な量を継続することの大変さと根気の必要性を肌で感じる事ができました。

2つ目は、手さげ袋作りです。マチ付きの袋に丁寧に取っ手を付けていく工程を見学し、身近な製品がこうした手仕事に支えられていることを学びました。

3つ目は、和三盆の袋詰めです。色とりどりで様々な形をした美しい和三盆を、一つ一つ慎重に詰めていく様子は非常に繊細で、生徒たちもその美しさと丁寧な仕事ぶりに見入っていました。

施設の方々が集中して働く姿は、生徒たちにとって大きな刺激となったようです。

今回の見学で実感したことを、今後の学校生活や進路選択に生かしていきたいと思えます。



高等部

1年生は10月8日（水）から22日（水）までの10日間、後期校内実習を行いました。最初の3日間はボールペンの組み立て・分解作業に取り組みました。前期校内実習での記録の更新を目指して、自分なりにやり方を工夫しながら、長時間の立ち作業をやり遂げることができました。2週目からは、受注作業やボールペンの消毒、陶芸作業、軽作業、園芸作業、余暇活動のほか、大川バスでの清掃作業など様々なグループに分かれて作業に取り組みました。受注作業では、校外の企業から資材をいただいて商品の検品や袋入れなどをしました。実際に販売される商品を扱うため緊張しましたが、丁寧さと正確さを心掛けて取り組むことができました。毎日の作業を通して自分の課題を改めて知ることができ、2年生での現場実習につながる有意義な校内実習になりました。



2年生は、「飛躍」の全体目標のもと、2週間の現場実習に臨みました。今回は、前期現場実習とは違い、個別実習をした生徒もいました。前期の経験を生かして、自分で考えて行動できる場面や、落ち着いて周りの方と関わることができる場面など、成長を感じる場面が多くありました。その中でも、課題や難しさを感じた生徒もおり、さらなる成長に向けてステップアップできるよう、一日一日を大切に学習に取り組んでいこうと思います。



(株) フジ
マルナカ白鳥店



障害福祉サービス事業所
いっぽ

箱折りをしました。真っ直ぐ折るのが難しい！



就労継続支援B型事業所
かがやき

施設の清掃作業をしました。マニュアルを見て一人で取り組みました。



四国旅客鉄道株式会社



ばいこう堂株式会社

その他の現場実習先

- さぬき市障害福祉課
- 香川大学農学部附属農場
- 株式会社パック三樹
- 株式会社フジマルナカ長尾店
- 香川県教育委員会事務局
特別支援教育課

高1 職場見学

【1組】11月5日に「社会福祉法人 朝日園」を見学しました。朝日園についての話を聞いた後、食事の準備の様子や印字科、軽作業科、印刷科などでの作業の様子を見学しました。職場の方の話をメモを取りながら熱心に聞いたり、パソコンを操作してカード作成を体験したりすることで、仕事内容を具体的にイメージすることができました。また、福祉ホームの見学では、居室のほか浴室や洗濯室、キッチンなどを実際に見ることで、卒業後の生活について考える良い機会になりました。



【2、3組】11月5日に「社会福祉法人もえぎの会 もえぎの里」を見学しました。生活介護棟や就労継続支援B型での仕事の様子、グループホームを見学しました。初めてグループホームを見学する生徒も多く、ベッドのある居室や明るい食堂を興味深そうに見学していました。事業所の作業の様子やグループホームについて知ることによって、来年度の現場実習や卒業後の生活について考えるための一助になりました。



高2 校外学習

2年団は、1月9日に瓦町方面への校外学習に行ってきました。今回の目的は「みんなでボウリング」と「グループごとで昼食」です。ボウリングが初めての生徒や久しぶりの生徒、補助具を使って参加する生徒など、参加した全員が笑顔で取り組み、ピンが倒れる音と笑い声、応援の音が入り交じった楽しい一時を過ごしました。また、昼食では事前に決めていたお目当ての店を探るところからグループのカラーが表れました。先生と一緒に計画していた道歩くグループ、街並みを堪能しながら店へ向かうグループ、勘と匂いを頼りに突き進むグループなど、それぞれがお腹も心も満たされた一日となりました。



余暇活動の広がりを目指すこと、集団行動での態度や協調性を身に付けること、予算や日程に応じた昼食や見学地を計画することなど、今回の校外学習を通して学んだことを今後の生活にも生かしていきたいと思えます。



進路指導部

進路指導に関する近年の動向について

1 香川県最低賃金の引き上げについて

<最低賃金とは>

最低賃金法に基づいて、国が賃金の最低額を定め、使用者はその最低賃金以上の賃金を労働者に支払わなければならないとする制度です。

970 円 (R6.10~)

66 円 up

1,036 円 (R7.10~)

- 一般企業における就労では最低賃金が保障されます。
- 就労継続支援 A 型事業所は障害福祉サービスを利用しながら事業所と「雇用契約」を結ぶため、最低賃金が保障されます。
- ついに香川県でも最低賃金が 1,000 円を超えました。一般就労でも A 型事業所における就労でも、最低賃金分の利益が出る仕事内容や社会人としてのマナー等が求められます。

2 令和 6 年度 香川県就労継続支援 A 型、B 型の平均工賃（賃金）について



施設種別	平均工賃（賃金）		施設数	令和 5 年度（参考）		
	月 額	時間給		月 額	時間給	施設数
就労継続支援 B 型事業所	23,387 円	248 円	158 箇所	22,688 円	248 円	147 箇所
就労継続支援 A 型事業所	87,658 円	976 円	34 箇所	78,611 円	936 円	32 箇所

<参 考>香川県「事業所別工賃実績一覧表(利用者 1 人あたり平均月額・時間額)」より

- 県内の就労継続支援 A 型、B 型の平均工賃（賃金）が掲載されています。
- 月額工賃は、事業所ごとに作業内容や作業時間等によって異なりますので、右の QR コードからアクセスできるサイトにてご確認ください。



<参考>障害者支援施設・日中活動系サービス事業所一覧 (R8.1.1 現在)

障害福祉サービス事業所の事業内容や新規に開所した事業所についての情報は、右の QR コードからアクセスできるサイトにてご確認ください。

障害福祉サービス事業所の見学については、個別に家庭から連絡していただき、見学日が決まりましたら、担任を通して進路指導部までお知らせください。



「就労選択支援事業」がスタートしました。

令和7年度10月よりスタートした就労選択支援事業を高等部2年生の対象生徒について実施しました。

就労選択支援事業とは

就労系サービス（就労継続支援A型、B型など）の利用や一般就労を希望する障がいのある方に対し、アセスメントによる就労能力や適性の評価、就労に関する意向確認を行い、本人の希望を尊重した適切な進路選択を支援するサービスです。

<対象者>

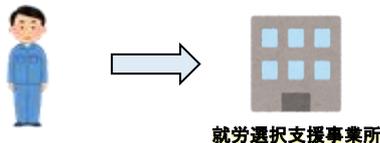
- 就労継続支援B型を新規利用する人…… 令和7年10月～
- 就労継続支援A型を新規利用する人…… 令和9年4月～
- 就労移行支援3年目を利用したい人…… 令和9年4月～

本校では「生活介護」のみの利用を考えている生徒以外の実施を予定しています。



<利用方法>

○就労選択支援事業所へ通所しアセスメントを受ける



○就労選択支援事業所が、現場実習や学校生活の様子を見に訪問してくれ、その中でアセスメントを受ける。



<就労選択支援事業の流れ>

一般的な就労選択支援事業の流れについては、進路だより令和6年度72号6pをご確認ください。

【令和7年度実施 香川東部支援学校 就労選択支援事業の流れ】

- ①7/29(火)、高等部2年、生徒・保護者対象の説明会を開催（東部支援学校にて）
- ②8月～対象生徒は市町の福祉課で支給申請を行う。→受給者証発行
- ③相談支援事業所との契約
- ④10/3(金)、実習決意発表会・周知会后、サービス利用に向けた担当者会及び選択支援事業所との契約
- ⑤10/6～集中作業学習、現場実習、通常の授業におけるアセスメント
- ⑥10/31(金)～多機関連携会議 ※ 実施の様子については、本校ホームページをご覧ください。

令和8年度の「就労選択支援事業」についての説明会は3月3日(火)に高等部1年生対象に実施しました。

～進路指導部より～

今年度からスタートした「就労選択支援事業」は、従来のB型就労アセスメントのようにB型事業所を利用するための“許可証”ではありません。この事業では、本人の「できること」「得意なこと」「これから伸ばしたいこと」や「困りごと」などを一緒に整理しながら、自分に合った働き方や福祉サービスを考えていきます。客観的なアセスメントや専門職からの助言を受けることで、自分の強みや課題を理解し、就労に必要な支援や配慮を明確にしていけることができます。また、一度きりではなく、希望があれば何度でも利用することができます。進路に対する考えや本人の力は、経験や成長とともに変化していきます。その時々状況に応じて見直しができる点も、大きな特徴の一つです。

今年度も本校の進路指導にご理解とご協力ありがとうございました。これからも障害福祉サービスや雇用に関する制度、状況について発信していきますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

進路指導主事 淀 妙子